

デマンド型交通の検討状況について

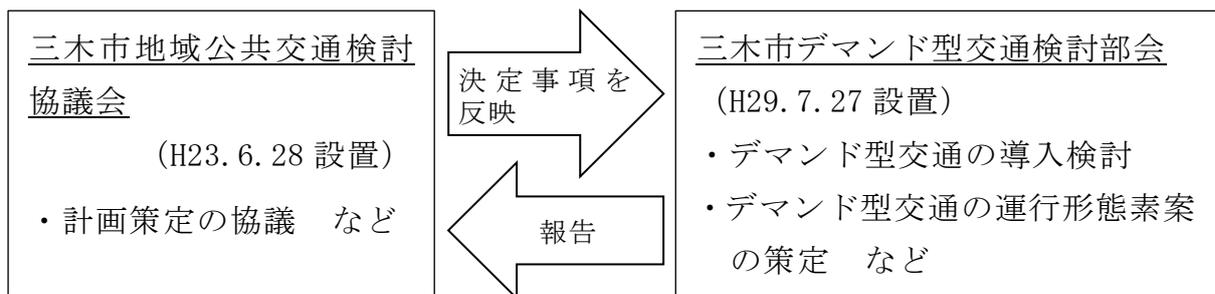
1 部会の設置

現在の公共交通の利用状況を踏まえ、「デマンド型交通」の導入の可能性や導入する場合における運行形態などについて検討するため、部会を設置。

2 部会の概要

(1) 位置付け

三木市地域公共交通検討協議会の下部組織として、部会を設置（三木市地域公共交通検討協議会設置要綱第7条の規定に該当）。



(2) 組織

(敬称略)

氏名	所属・役職名	備考
正司 健一	国立大学法人 神戸大学 学長顧問	部会長
松本 修治	神戸電鉄株式会社 経営企画部長 兼 鉄道事業本部長付部長	
竹内 宏	神姫バス株式会社 バス事業部 計画課 地域公共交通担当課長	
田中 眞一	神姫ゾーンバス株式会社 代表取締役	
小谷 陽亮	一般社団法人兵庫県タクシー協会 東播支部 支部長	
吉本 道明	国土交通省 神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門 首席運輸企画専門官	
正垣 あおい	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課 副課長 兼 地域交通班長	
増田 秀成	三木市 まちづくり部長	職務代理者

(3) 協議内容

- ア 必要と認められる地域において、デマンド型交通の導入が最適であるかを検討すること。
- イ デマンド型交通の導入が最適であると認められる場合において、その経路や便数等の運行形態の素案の策定に関すること。

3 第1回部会の概要

- (1) 日 時：平成29年9月5日（火） 午前10時～正午
- (2) 場 所：三木市立教育センター4階 大研修室
- (3) 内 容

ア デマンド型交通の運行形態の分類及び特性について

デマンド型交通の運行形態について、運行方式（定路線型⇔自由経路ドアツードア型）、運行ダイヤ（固定ダイヤ⇔非固定ダイヤ）及び発着地自由度（発着地固定型⇔発着地非固定型）における分類や、路線定期型交通と比較した場合の特性を整理した。

イ デマンド型交通の導入先進地事例について

視察先とした丹波市、岡山県総社市、たつの市及び宍粟市におけるデマンド型交通の導入の経緯や運行形態、運行にかかる経費等について報告した。

ウ デマンド型交通の導入検討の方向性について

次に掲げる方向性をベースに検討を進めることとした。

- ・本市の公共交通網の現状課題を整理・把握し、新たな公共交通網を構築する。
- ・デマンド型交通のメリット及びデメリットを十分に見定めた上で、デマンド型交通が現行の交通形態に比べ地域の移動需要特性等に合致し、他の交通手段との役割分担の明確化により共存共栄が図られるなど、デマンド型交通の導入が適当と認められる場合には、その導入の検討を進める。
- ・デマンド型交通の導入の検討に当たっては、導入費用と導入により得られる効果を比較考慮するなど、費用対効果の観点から整理するとともに、本市の財政負担にも十分に配慮する。

4 今後の予定

回数	開催時期	内容
第 2 回	平成 29 年 12 月	・アンケートの調査結果に基づくデマンド型交通の利用意向の整理
第 3 回	平成 30 年 3 月頃	・デマンド型交通の導入方針の策定